

## 第 21 回教育課程編成委員会議事録

開催日時：令和 5 年 8 月 22 日（火） 14：00～15：00

開催場所：下関福祉専門学校 3 階

出席者：早川 弘之（社会福祉法人 下関社会福祉協議会 在宅福祉課長）  
富田 陽治（一般社団法人 山口県介護福祉士会 理事 下関ブロック長）  
竹永 裕子（社会福祉法人菊水会 福祉相談室長）  
関谷 豊（下関福祉専門学校 校長）  
田中 真由美（下関福祉専門学校 教務部長）  
藤岡 恵子（下関福祉専門学校 教務主任）  
長本 幸子（下関福祉専門学校 専任教員）  
廣橋 紗也佳（下関福祉専門学校 専任教員） 敬称略

### 議事次第

- 議事 1 今年度の教育目標
- 議事 2 今年度の「福祉と文化」について
- 議事 3 各委員からの意見要望
- 議事 4 その他

### 議事 1. 今年度の教育目標について

以下の通り各学年の担任より発表をする。

#### 1. 介護福祉士として、利用者の尊厳を理解し、尊厳の保持の実践ができる

##### 【1 年生】

尊厳とは何か理解することができる

##### 【2 年生】

利用者一人ひとりを理解し、介護過程の展開を通して全人的なケアが実践できる

#### 2. 介護実践に必要なコミュニケーション技術を養うことができる

##### 【1 年生】

人間関係を築くためのコミュニケーションが理解できる

##### 【2 年生】

コミュニケーションを通じて、利用者個々の望む生活を引き出すことができる

3. 根拠に基づいた介護実践を行うための知識、技術を学習し実践することができる

【1年生】

介護に必要な知識を学び、個々に応じた介護技術の提供に必要な根拠が理解できる

【2年生】

個別ケア及び自立支援に基づいた、安全安楽な介護実践ができる

教育目標に対する質疑応答

A 委員 Q: 2つ目の介護実践に必要なコミュニケーション技術を養うことができるとあるが、コミュニケーションは、こういった授業を行っているのか。

A: 対人関係や言語、非言語コミュニケーションなどの基礎的なコミュニケーションなどを授業では行っている。

山口大学大学院の教授でのコミュニケーション技法の授業も行っている。

B 委員 Q: 3つめの根拠に基づいた介護実践とあるが、実際現場でも出来ていないことが多い。その為、学校でしっかり学んでほしい。また、施設では、事務作業をするものは LIFE について何となくだが理解が出来ているが、現場では全く知らない職員もいるので、施設でも手探り状態である。

A: LIFE は、根拠のある科学的な介護を実践していくために必要なものがあるが、全てを理解することは難しいので、学生と教員も一緒に学んでいきたい。

議事 2. 今年度の「福祉と文化」について

委員からの意見

B 委員: 口腔ケアに関して、実習に来る学生は実際高齢者の口腔内を見て驚く学生が多い。その為、学生同士で口腔ケアを実施しているとあるが、高齢者の口腔内と若い人の口腔内では違うので、その辺も取り入れてもらえると有難い。

A: 人形などのモデルがあるかどうかの検討をしてみる。

A 委員: 介護は、横の繋がりが少ない。先日介護福祉会で横のつながりを持つとセミナーを開催した。その際必要なのはコミュニケーションであった。いろいろな年代、いろいろな職種とのコミュニケーションを介しての連携なども考えてみてはどうか。働き出しからの違う施設との繋がり作り方なども勉強していったらよいのでは？

A: 現在、コミュニケーション技法の授業で山口大学の教授に来てもらい、授業を行っているが、福祉と文化の特別授業でそれが行なえるかどうか検討をしてみる。

### 議事 3. 各委員からの意見、要望

介護現場での虐待は、介護福祉士の資格を持っている介護職に見られるかどうかについて

C 委員： 在宅では、家族からの虐待の報告がある。しかし、職員の虐待については、障害者施設で身体的虐待よりも暴言などの心理的虐待があるとの報告もある。

C 委員： 現場では、介護支援専門員が居宅サービス計画を立て、それに沿って個別サービス計画を考えるのであるが、理解できず個別サービス計画ができない人が多い。介護支援専門員のサービス計画に沿った個別サービス計画が考えられるような授業を取り入れてほしい。

A: 教科書には、個々に情報からアセスメントをし、計画の立案を行うという介護過程についての記述はある。しかし、介護支援専門員が作成した介護計画書に沿った個別サービス計画の作成をする過程がない。その辺も踏まえ指導を行っていく。

現場の流れを知ってもらう為にも、必要なことだと思うので前向きに検討する

### 議事 4. その他

委員： 今年も、入学者があまりにも少ないので悲しいなと思います。

A: 過去に本人は入学希望しているが、親が反対しているという学生がいた。介護福祉士はだめだが看護師なら良いと言われたとある。介護=大変なイメージが今でも残っていると思われる。しかし、親が介護職の場合介護の楽しさやすばらしさを子供に伝えているので、介護の道を進みたいという希望者もいる。ドラマなどあれば悪いイメージも払拭されると思う。もし、イベントなどあれば積極的に参加、協力するので言ってほしい。

### 次回の委員会開催日

3 中旬頃予定